記者発表資料

平成２２年１月２２日
東 北 地 方 整 備 局

「国営みちのく杜の湖畔公園」の維持管理業務をより競争性を高めて公募！！
～　企画競争参加者公募のお知らせ　～

「国営みちのく杜の湖畔公園」では、動植物の育成・管理、建物などの維持管理、利用者に対するサービスの提供など公園全般の運営維持管理を行う企業や団体（共同体も可）を公募しています。
公募にあたっては、より競争性を高めるため配置予定責任者に求める業務経験の対象として民間の観光・商業施設を含めるなど広い条件での内容としています。

１．業務名　国営みちのく杜の湖畔公園運営維持管理業務
２．履行期間　平成 22 年 6 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日（予定）
３．履行場所　国営みちのく杜の湖畔公園
（宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松５３－９）
４．スケジュール
〇公　　示　　日　：平成２２年１月２０日（水）
〇企画提案書提出期限　：平成２２年３月１０日(水)
〇特定（非特定）通知　：平成２２年４月１２日（月）予定
５．配置予定責任者に求める業務経験（下記６．の公示文をご覧下さい）
都市公園またはレクリエーション施設※、観光・商業施設※で花を含む園地管理を行っている施設で、延べ６ヶ月以上の業務実績を有している方
※例えば、遊園地、植物園、水族館、動物園、テーマパーク、ゴルフ場、スキー場、キャンプ場、牧場、大規模ホテル、複合ショッピングセンター、温泉施設など
６．その他
手続き開始の公示文は、以下の担当部局にお問い合わせいただくか、下記のホームページからもご覧いただけます。
〇担当部局　〒９８０－８６０２　仙台市青葉区二日町９番１５号
東北地方整備局総務部契約課購買係　℡０２２（２２５）２１７１
〇ホームページ　国土交通省東北地方整備局　http://www.thr.mlit.go.jp/
国営みちのく杜の湖畔公園事務所　http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　　電話　０２２（２２５）２１７１
建政部　都市・住宅整備課　課　　長　　酒井　了（内線６１６１）
課長補佐　　水越　崇（内線６１６３）

参　考

「国営みちのく杜の湖畔公園」における前回と今回の参加者公募の主な変更点について

前回（Ｈ１９～２１）参加者公募

１．業務実績

応募企業等に必要な業務実績として、大規模な公園、民間レクリエーション施設において総合的な業務を行っていた実績を条件とするとともに国営公園等の実績を優位に評価。

企業等の業務実績として、過去５年間の以下の同種、類似の業務で総合的に行う業務経験を有することとし、同種、類似の順位で評価する（再委託業務の実績は含まない）。

【同種】国営公園、大規模公園（50ha 以上を標準）

【類似】10ha 以上の都道府県等の公的機関が設置する都市公園等または民間法人が設置するレクリエーション施設（利用形態が単一のものまたは特定の会員等の利用に限定されるゴルフ場、スキー場などは含まない）

２．参加企業等の形態

企業等の参加は、単体企業に限る。

３．参加企業等に求める保有資格者

技術士(建設部門(都市および地方計画))２名、１級造園施工管理技士４名、１級土木施工管理技士２名などの資格者を保有することを参加企業等の条件とする。

今回（Ｈ２２～２４）参加者公募

１．業務実績

配置予定責任者に求める業務経験として、都市公園については規模の大小にかかわらず、また一般的な民間の観光・商業施設等も対象とするとともに、施設の違いによる評価は行わないこととするなど、業務実績に求める条件をより広い内容とし、参入機会を大幅に拡大。

配置予定責任者に求める業務経験として、都市公園（規模の大小は問わない）またはレクリエーション施設、観光・商業施設（遊園地、植物園、水族館、動物園、テーマパーク、ゴルフ場、牧場、大規模ホテル、複合ショッピングセンター、温泉施設等）で花を含む園地管理を行っている施設で、延べ６ヶ月以上の業務実績を有することとし施設等の違いによる評価は行わない。

なお、業務実績は応募企業等に対して問うものではない。

２．参加企業等の形態

単体企業で参加することも共同体として参加することも可能とし、異業種間で共同体を組むこと等により参入機会を拡大。

３．参加企業等に求める保有資格者

参加企業等に対し、資格保有者を有することを条件とせず、企業等の規模や業種による優位性を排除し、より参入機会を拡大。

（みちのく公園で期待される民間等の経験を活かした企画提案について）

みちのく公園は、花と緑で親しまれ、平成２０年度は７２万人の入園者に利用していただき、昨年５月には累計入場者数が１，０００万人を越えました。さらに、昨年８月には開園２０周年という節目の時期を迎えたところです。今後とも、広域的レクリエーション施設としてより幅広い多くの方々に利用していただき、またその利用者満足度を向上させるための具体的な手法等について、南北に離れた現在開園されている２地区の特徴等を活かし、従来の発想を越えた民間等の創意あふれる企画提案を求めています。

［参考］平成２０年度実績

利用者数　722,246 人 、有料入園者数　281,378 人、満足度　82.5 ％